

World Vision

ワールド・ビジョンニュース

World Vision

この子を救う。未来を救う。

No.178

2014夏号

News



特集



命のプロジェクト

世界の子どもたちに、まず5才までの命を。

弟のマイケル君をおんぶするハピネスちゃん6歳「世界の子どもたちが5歳まで生きられるように!」と願いを込めて手をあげてくれました(タンザニア)



命の木プロジェクト

世界の子どもたちに、まず5才までの命を。

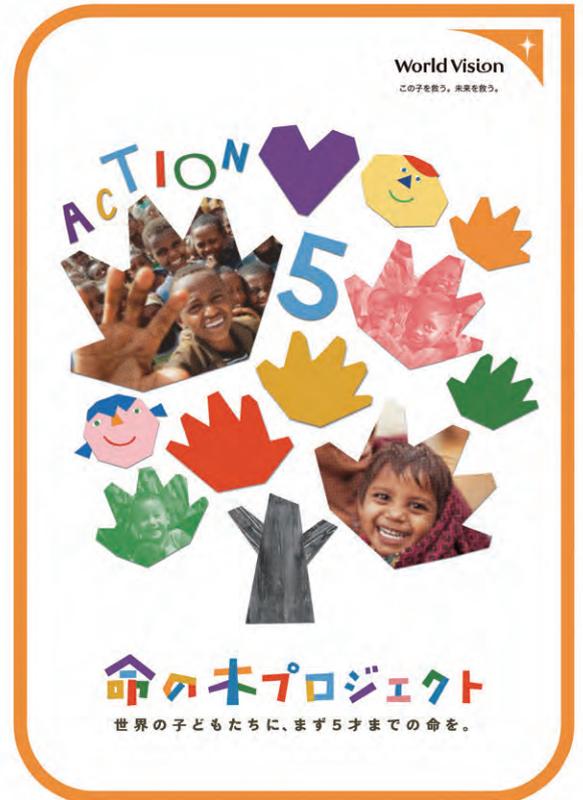
5秒に1人。
世界では5才に満たない命が消えています。
その数は、年間660万人。

2015年までに、
5才未満の子どもたちの死亡率を1990年の3分の1へ下げる。
日本と世界のリーダーたちは目標をさだめ、
国連で約束を交わしました。

期限まであと1年。死亡率は減らせていますが、目標のまだ半分。
今の取りくみ方では、間にあいません。

世の中にこの問題を伝え、手をかしてもらおう。
ワールド・ビジョンは「命の木プロジェクト」を今年も行います。
子どもたちの命を救いたい。
その気持ちを絵や言葉、写真にした「アクション」をあつめ、
世界のリーダーたちに届けます。

5才まで生きられれば、
多くの子どもたちが大人になるまで生きていける。
だからまず、子どもたちが5才まで生きられる世界へ。



世界とも連携して大きな力に

「命の木プロジェクト」は世界のワールド・ビジョン(以下、WV)と連携しており、2013年には、日本を含む24カ国のWV各国事務所が政府への提言を行い、国連での提言活動にもつながりました。子どもの命を守ることが世界の政策形成の場で注目される潮流を作り出しています。

継続が、力に。目標達成期限まであと1年

「命の木プロジェクト」が達成を目指している、国連で世界のリーダーたちが掲げた“5才未満の子どもたちの死亡率を1990年の3分の1へ下げる”という目標。達成期限は来年です。目標が定められた1990年には1200万だった5歳に満たない子どもの死亡数は660万に減少。確実な成果が見られる一方、このままのペースでは、目標達成は困難な状況です。子どもたちの命を守るため、世界のリーダーが取り組みを加速させるよう、声を届ける必要があります。継続が、力になります。今年もぜひ、ご参加ください！



お粥ができあがるのを待っているカンボジアのマカラ君

6月2日～7月31日の期間、30,000件のアクションを募集！

あなたの絵や言葉、写真が世界のリーダーを動かすアクションになる。

みんなで作ろう
「世界の子どもカルタ」
読み札大募集！

子どもたちの命を救いたい。

その気持ちを表した絵や言葉、写真、カルタ作品をお送りください。

参加方法

↑ ホームページから、絵や言葉、写真を送る。
詳細はこちら
<http://www.worldvision.jp/inochinoki2014>

↑ ホームページから、カルタ作品を応募する。
詳細はこちら
<http://www.worldvision.jp/karuta>

 **Facebook**で、【まず5才までの命を。～命の木プロジェクト～】というタイトルの記事にコメントを書く、シェアをする。
<https://www.facebook.com/WorldVisionJapan>

 **Twitter**で、
「#まず5才までの命を」をつけて、ツイートまたはリツイートする。

 **子ども向けイベント**に参加する
詳細はグローバル教育 (p.8) へ！



送った絵や言葉、写真、カルタ作品はどうなるの？

世界の子どもたちが元気に成長できる環境を整えるよう、世界のリーダーに訴えるため、国連総会に出席する日本政府に届けます。

確実に届けられている、「子どもたちの命を救いたい」という声

3年目を迎えた「命の木プロジェクト」。過去2年間に皆さまからお寄せいただいた総計70,179件のアクションと政策提言書を受け取った外務省、世界銀行からは、子どもの命を守るために努力する意思表明をいただいています。(写真参照)



「世界中、すべての子どもたちが笑顔になれるまで、政府、ドナー、市民社会、金融機関がパートナーを組み、さらなる改善を目指していかなければなりません」(世界銀行タマール・アティック人間開発総局副総裁 (2012年当時、写真右))



「国際保健外交戦略の中で、提言の主旨を踏まえて、できるだけ努力していきたい」(外務省 相星孝一国際協力局審議官 (2013年当時、写真右))

チャイルド・スポンサーシップ支援地域から

エクアドル共和国

ブンガラ地域開発プログラム(以下、ADP) (支援期間 2007年7月~2023年9月終了)

コルタADP(支援期間 2010年1月~2026年9月終了)



両ADPの支援地域は、エクアドル中部、アンデス山脈中腹の標高約2,500m~4,000mに位置します。しばらく歩いただけですぐに息が上がってしまうほどの標高で、気候条件は厳しく、電気や水道などのインフラも十分に整備されていません。WVは、子どもたちが将来への希望を持ちながら健やかに成長できるよう、子どもの年齢に応じた支援活動を行っています。

1 0-5歳を対象とした事業

支援地域には栄養不良を抱えた子どもたちが多くいます。母親たちは、家庭菜園で育てた野菜やアンデス原産のキヌア(栄養価が非常に高い穀物)を使った栄養バランスのとれた食事の調理法を学び、各家庭で実践しています。また、特に経済的に厳しい家庭に対して、栄養改善と収入創出のためクイ(食用モルモット)の支給と飼育方法の指導もしています。



地域で入手可能な食材で栄養バランスのとれた食事を作る母親たち

2 6-12歳を対象とした事業

農村部では教材や教師の不足の問題があります。質の高い教育を目指し、子どもたちが楽しみながら学習できるような教材の提供や、教師への教授法研修などを行っています。



「1187だから、一の位には7粒置いて…」
トウモロコシの粒を使って、4ケタの数字を表す男の子(9歳と10歳対象のクラス)

3 13-18歳を対象とした事業

生徒たちに自分の将来の夢や、その実現に向けて今すべきこと、必要な助けや、障がいとなっていることを考えてもらう取り組みをしています。また、妊娠・出産のために進学をあきらめてしまう10代の若者が多いことから、性教育も行っています。



「大学に進学して教師になることが夢です。うちは経済的に厳しいから、たくさん勉強して奨学金をとらないと」と語るベタちゃん(13歳)

エクアドルは今夏予定している支援地訪問ツアーの訪問先です。支援地域の人々やADPスタッフは、地球の裏側で皆さまにお会いできることを楽しみに待っています(詳しくはp.5参照)。



同じ「釜」の飯?

特別な機会にふるまわれる「パンパ・メサ」。各家庭が食べ物を持ち寄り、白いシートの上にどさっと並べた後、手づかみで欲しいだけ取って食べるという、地域の人々の絆を象徴する食事です。

デザインが新しくなりました!

手紙キットは、チャイルドへの手紙を簡単に書くことができるレターセットです。ぜひチャイルドへのお手紙にご活用ください。

郵送でお送りします

チャイルド名と番号、スポンサー名と番号を印字した便せん1枚、封筒1枚のセットをお届けします。ご希望の方は、コンタクトセンター(03-5334-5351)までお問い合わせください。

ご自宅で印刷できます

① ホームページ ➡ 支援者の方へ ➡ マイ ワールド・ビジョン
 マイ ワールド・ビジョンにログインして、手紙キットをダウンロードすると、チャイルド名と番号、スポンサー名と番号が自動で入力されます。ご自宅で印刷してチャイルドにお手紙をお書きください。

※マイ ワールド・ビジョンには、別途登録が必要です。

② ホームページ ➡ 支援者の方へ ➡ 手紙を書こう ➡ テンプレート
 手紙テンプレートのページからダウンロードし、ご自宅で便せんを印刷することができます。お手紙には、チャイルド番号などを、お忘れなくお書きください。



チャイルド・スポンサーの「地球あちこち～エクアドルを知る旅」のご案内

南アメリカ大陸に位置するエクアドル。標高約3,000mの高地に位置するブンガラADPとコルタADPを訪問し、チャイルドとの交流を通じて、支援地域を体感していただく旅です。世界遺産として指定されているキト旧市街も訪問する予定です。ご関心がある方は、まず資料をご請求ください。



標高3,000mを越える山の斜面に、民家が点在しています



スポンサーに手紙を書くチャイルド

エクアドル



アンデス高地に住むブンガラADPの子どもたち

訪問先: ブンガラADP (ECU-190632)、コルタADP (ECU-196377)

期 間: 2014年8月23日(土)～8月31日(日)

参加費: 約348,700円(別途空港諸税、燃油費、ビザ代が約61,700円かかります。燃油費は、変更になる可能性があります)

申込締切: 2014年6月23日(月) 必着

参加人数: 20人(最低催行人数14人: 申込み多数の場合は、申込み順や、これまでの参加回数などを考慮し、選考させていただきます)

※エクアドルのスポンサーを優先しますが、それ以外の地域のスポンサーの方もご応募ください。

※チャイルド・スポンサーの方に限らせていただきます。

※訪問国の治安状況により、ツアーを中止させていただく場合があります。

ツアーに関するお問い合わせ: TEL: 03-5334-5351 Eメール: dservice@worldvision.or.jp
 (メールにて資料請求の場合は「エクアドル訪問ツアー希望」とお書きください)



南スーダン危機 子どもたちの希望を取り戻すために

南スーダンは、2011年7月に約40年におよぶ長い紛争から独立したばかりの国です。しかし、2013年12月に首都ジュバで勃発した武力衝突を契機に、事実上の内戦状態に陥り、深刻な人道危機に直面しています。

現在、増え続ける南スーダン国内外の避難民は100万人(UNOCHA:国連人道問題調整事務所、2014年4月3日)を越え、うち60%は子どもたちです。独立の際、希望と夢を胸に祖国南スーダンに戻ってきた人々や子どもたちは、残虐な暴力を目の当たりにし、水や食糧が不足する祖国の急激な変化に底知れない失望感と将来への大きな不安を抱えています。

ワールド・ビジョン・ジャパン(以下、WVJ)は2006年からジャパン・プラットフォーム(JPF)の資金と、皆さまからの募金をいただき、アッパーナイル州で、コミュニティや地方行政機関と力をあわせ、水衛生支援や生計支援、教育支援などを実施してきました。多くの子どもたちが学校に戻りはじめ、子どもたちに笑顔が見られるようになり、



アッパーナイル州マラカル市内避難民居住区の様子

日常の暮らしを取りもどしつつありましたが、昨年末からの戦闘で、子どもたちの希望が打ちくだかれました。

同州は、政府軍と反政府軍の勢力争いが最も激化しており、多くの人々が戦闘の犠牲になっています。これまで支援事業を行っていた地域の一部は戦闘に巻き込まれ、ほかの地域から避難民が流入し、これまでの生活が一変。人々は混乱と、恐怖の中に追い込まれています。

WVJはJPFより追加助成を受け、2月より同州で、水衛生緊急物資を配布する事業を行っています。度重なる戦闘のため、支援を待つ人々のもとに緊急物資を届けることは非常に困難を伴いますが、一刻も早く一人でも多くの方が、きれいで安全な水を得られるようになることを目指しています。今後は、南スーダンの子どもたちが避難生活の中でも、生きてゆく希望を少しでも取り戻すことができるよう、子どもの保護、および教育活動にも取り組んでいきたいと考えています。



戦闘により焼かれた町



国連施設の敷地内に避難している子ども



避難先の道端で物売りをしつつ勉強している子どもたち

南スーダンで、戦禍から逃れて生きる子どもたちを夏期募金により支援します。

不安と恐怖の中で生きる子どもたちが、希望を取りもどすことができるよう、ご協力をお願いします。

ホームページにて募金を受け付けています。

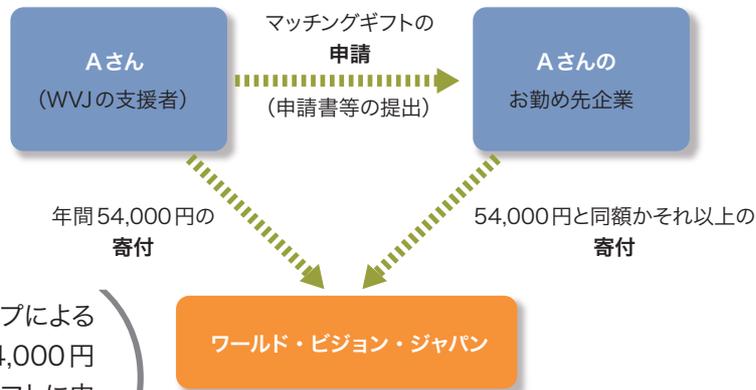
ワールド・ビジョン 夏期募金

検索

企業が行う「マッチングギフト」をご存知でしょうか？

従業員による募金と同額かそれ以上の寄付を、企業が同じ団体に対して行う、企業の社会貢献活動の一つです。マッチングプログラムなどとも呼ばれています。従業員と企業の寄付が連動（マッチング）して行われます。

（例えば、チャイルド・スポンサーシップによる1年間の支援（1人のチャイルド54,000円の場合）を、お勤め先のマッチングギフトに申請した場合、図のような流れとなります。



マッチングギフトを通して、企業は従業員の社会貢献意識を高め、従業員の方は団体を通じた支援をさらに拡大することができます。すでにこのプログラムを利用されているご支援者の方がいらっしゃいます。

皆さまのお勤め先にこのようなプログラムがあれば、ぜひ、ご利用をご検討ください。

ラブケーキプロジェクト

628台のケーキで幸せのおすそ分け

2009年から始まったラブケーキプロジェクト。5年目の今年は全国19都府県から80店舗が参加、628台のラブケーキが販売され253,500円の募金が集まりました（2014年3月31日現在）。

● 参加したパティシエの方からは、
「私たちが作ったケーキで誰かを笑顔にさせることができることに、この仕事へのやりがいと誇りを改めて思い出させていただきました」（徳島県・兵庫県・香川県「イルローザ」さま/2010年からご参加）

● ラブケーキを購入した方からは、
「友だちから教えてもらって、今回初めて買いました。子どもたちの勉強にもなって、面白い企画だなと思いました」（福岡県「いしむら」さまのケーキを購入）

お寄せいただいた募金は、アフリカ南部、ジンバブエの食糧支援プロジェクトに役立てられています。



LOVE CAKE PROJECT™

日本のパティシエ × World Vision



今年、最高記録の90台を販売した「パティスリーグレン」さまのラブケーキ（新潟県）



配布された食糧を受け取る女性たち

子どもの栄養改善を目指し、アドボカシーを進めています！

子どもの死亡に大きな影響を与える、栄養不良の改善を目指すアドボカシー（政策提言）に力を入れています。2013年12月、栄養改善に取り組む国際機関、日本政府、JICA、NGO、コンサルタント、民間企業など、官民の関係者が一堂に会する「栄養ラウンドテーブル」という会議を、連携しているNGOの日本リザルツ（JR）、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（SCJ）とともに、初めて開催しました。お互いの取り組みを共有し、今後、より協力して子どもの栄養改善を進める約束をしました。2014年3月には、国会議員を対象にした勉強会を開催し、途上国の子どもたちと栄養に関する理解を深めていただくとともに、今後の協力につながる関係づくりを行いました。「命の木プロジェクト」(p.2-3)は、こうした政策提言を後押しする力になります。活動へのご協力をお願いします。



「栄養ラウンドテーブル」で、栄養改善に向けた取り組みの強化と関係機関の連携を訴える柴田スタッフ（左から2人目）



研修で栄養について学び、実践する母親（バングラデシュ）。こうした取り組みを強化するためのアドボカシーを進めています

グローバル教育

7月30日（水）WVサマースクールを開校します！



「日本の子どもたちに世界の現状を知ってほしい」という願いをこめ、夏休みに開催しているサマースクールですが、今年は「命の木プロジェクト」の一環として、5歳まで生きられない厳しい現状にある途上国の子どもたちに目を向けます。途上国の子どもたちの生活の疑似体験や、子どもたちの命を救いたいという思いを絵や言葉にし、みんなで「命の木」を作る予定です。完成した「命の木」は、9月に行われる国連総会で日本と世界のリーダーに届けます。ぜひ、ご参加ください。

サマースクールでは、アフリカの家を再現し、電気や水道のないエリック君の生活を疑似体験します

日時：7月30日（水）10:00-15:00

場所：ハーモニーホール（東京 中野坂上）

定員：40名

対象：小学3～6年生

参加費：無料

参加申込はこちら

貸出用紙芝居をご利用ください！

「命の木プロジェクト」に参加して下さる学校関係者の皆さまに使っていただける「貸出用紙芝居」を用意しました。ルワンダに住むエリック君の生活を紹介し、途上国の子どもたちが5歳の誕生日を迎える前に命を落としてしまう現状を伝えていただくことができます。

資料請求はこちら

貸出用紙芝居はA2サイズ、14ページです。ご利用は無料。送料のご負担をお願いしています



現在、チャイルド・スポンサーシップを通してタイのナルエタちゃんのチャイルド・スポンサーになってくださっている小杉さん。2004年から10年間ご支援くださったインドネシアのカルフィリアニちゃんとの出会いを振り返っていただきました。

約30年前、私たち家族はインドネシアのジャカルタに住んでいました。当時幼稚園に通っていた息子は、現地の人々に愛され、良い経験をたくさんさせていただきました。帰国後、WVのチャイルド・スポンサーシップを知り、インドネシアのチャイルドを支援することで、お世話になった方々への恩返しができるのではないかと考えるようになりました。その後、息子の就職を機に、彼が毎月4,500円の支援を、私がチャイルドへ手紙を書くという分担で、インドネシアのスカン地域に住むカルフィリアニちゃんへの支援を始めました。



チャイルドからの成長報告を手にする小杉紀子さん

支援を始めて約10年が経った今年3月、当時小学3年生だった彼女が高校を卒業し、就職することになったという報告をもらい、驚きとともに感激しました。インドネシアのスタッフの皆さんが、しっかり彼女を支え、立派に成長させてくださったのだと思い感謝しています。カルフィリアニちゃんを通しての支援は終わりましたが、私たちは彼女と家族の、健康と幸せを日本から祈りつつ、これからはタイのタブラヤ地域に住む、ナルエタちゃんを通して支援を続けていきます。

NEW

お知らせ

チャイルド・スポンサーシップの報告書が新しくなります！

チャイルド・スポンサーの皆さまには、チャイルドの写真つき「成長報告」と、支援地域での活動状況をお知らせする「プログラム近況報告」をそれぞれ年1回お届けしてきました。今年、この2種類の報告書を同時にお届けします。これまで「プログラム近況報告」は毎年春にお届けしてきましたが、今年、国によってお届け時期が異なりますことを、何卒ご了承ください。地域でどのような支援が進んでいるのか、チャイルドはどんな活動に参加しているのか、「**地域の変化**」が「**チャイルドの成長**」につながっていることを分かりやすくご報告したい、との願いを込めて新しい試みに挑戦しました。「支援していて良かった!」と感じていただける報告になるよう、現地スタッフと協力しながら準備を進めています。どうぞご期待ください!



インドネシア・トゥナADPの成長報告とプログラム近況報告例

※2種類の報告書が完成した国から、現地事務所より直送で皆さまにお届けする予定です。

なお、コンゴ民主共和国、タンザニア、マラウイ、ラオスは、現地の郵便事情などにより、WVJ事務所よりお送りします。

WVJでは、全国の方々にテレビ番組を通して、途上国の子どもたちの現状を伝えています。番組は、制作から放映まで、多くの方のご協力によって完成します。昨年11月の台風の被害により、さらに多くの支援を必要としているフィリピンをご紹介します。5月に完成しました。その番組「世界の子どもの日常生活フィリピンに生きる子どもたち」ができるまでを、山下スタッフに密着して紹介します。



山下スタッフからのコメント

フィリピンでは、支援を必要としているたくさん子どもたちに出会いました。この番組を通して、多くの方がスポンサーになってくださり、日本からの愛を届けていただけたらと願っています。

3月上旬

撮影



現地スタッフと打ち合わせ



今回の撮影地はフィリピン

デルタ航空をご利用のお客様からのマイルのご寄付をいただき、今回の出張が実現しました



撮影場所まで険しい道のりが続く



子どもたちの緊張をほぐすのも山下スタッフの大切な役割

現地では、多くのボランティアのご協力によって撮影が無事に終了しました。

3月下旬～4月上旬

編集



帰国後、ミーティングや試写を重ね、子どもたちの素顔や生活の現状が、できるだけ忠実に視聴者の皆さまに伝わるように、編集を進めます



番組のナレーターは、WVJ親善大使の酒井美紀さんがボランティアとしてご協力くださいました

5月上旬

番組 放映開始



■番組の放映予定はホームページでチェックできます！ 皆さまのご家族やご友人にもぜひお知らせください。

■WVカフェのご案内(2014年6月～9月)

ご家族ご友人をお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。参加ご希望の方は事前にホームページ、Eメール、またはお電話にてお申込みください(締切は開催日の3日前までです)。

TEL: 03-5334-5351

FAX: 03-5334-5359

Eメール: dservice@worldvision.or.jp



WVカフェ in 大阪の様子

新潟

日時: 6月7日(土) 14:00～16:30

場所: 新潟県民会館 第1会議室
新潟市中央区一番堀通町3-13

千葉

日時: 6月28日(土) 14:00～16:00

場所: 船橋市勤労市民センター 第一会議室
船橋市本町4-19-6

山口

日時: 7月12日(土) 14:00～16:30

場所: 下関市勤労福祉会館 第一会議室
下関市幸町8-16

広島

日時: 7月13日(日) 13:00～15:30

場所: アステールプラザ 4F 大会議室A
広島市中区加古町4-17

神奈川

日時: 7月26日(土) 14:00～16:30

場所: 横浜情報文化センター 7F 大会議室
横浜市中区日本大通11番地

岡山

日時: 8月9日(土) 14:00～16:30

場所: 岡山国際交流センター 5F 会議室(1)
岡山市北区奉還町2-2-1

兵庫

日時: 8月10日(日) 14:00～16:30

場所: 兵庫県人権啓発協会 のじぎく会館 大会議室201
神戸市中央区山本通4-22-15

静岡

日時: 8月30日(土) 14:00～16:30

場所: アクトシティ浜松 研修交流センター 52研修交流室
浜松市中区板屋町111-1

奈良

日時: 9月6日(土) 14:00～16:00

場所: 奈良商工会議所 4F 小ホール
奈良市登大路町36-2

京都

日時: 9月7日(日) 14:00～16:30

場所: コープイン京都 2F 202号室
京都市中京区柳馬場蛸薬師上ル井筒屋町411

■「ワールド・ビジョン・ニュース2014春号(No.177)」6ページに誤りがありました

2014年3月上旬にお届けしたワールド・ビジョン ニュース2014春号(No.177)の6ページタイトル部分に誤りがありました。

【誤】アフガニスタン栄養改善事業→【正】アフガニスタン保健・医療従事者の養成環境整備事業

お詫びして訂正いたします。

編集後記

今までいろいろな国を訪問しましたが、どの国でも子どもたちに共通することがあります。笑顔が輝いていること。どんな物でも遊びの道具にしてしまうこと。家族や地域で愛され、大切にされている子どもたちは安心感に溢れていること。物質的には貧しくても豊かな心を持っている子どもたちが多くいることなど。物質的な豊かさと幸福感とは必ずしも一致しませんが、私たち大人がすべきことは子どもたちが健やかに、そして豊かに育っていける環境を提供するよう努力することだと思います。特に5歳までの子どもたちが健やかに生きられるよう、今年も「命の木プロジェクト」に心を込めて取り組みます。(事務局長)

チャイルド・スポンサーを募集しています

「お医者さんになりたい」

フィリピンに住むメルチョー君（7歳）は、毎日大きなタンクを持って、井戸まで水を汲みに行きます。そのタンクの重さは、メルチョー君の体重とほとんど変わりません。水を近所の家々へ届けて、お金をもらいます。50往復しても、やっとノート1冊が買える程度のわずかなお金ですが、このお金は、自分のためではなく、家族の生活のために使っています。

このような境遇の子どもたちのために、チャイルド・スポンサーを募集しています。



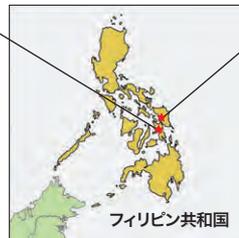
井戸で汲んだ水を、大きな棒を使って運ぶメルチョー君



「doctor (医者) になりたい」と笑顔で語るメルチョー君

■レイテ地域開発プログラム

- ・貧困が子どもたちの発育や教育の阻害となっている
- ・保健医療施設や人員が不足しているため、乳児死亡率が高い
- ・安全な水が確保できない



フィリピン共和国

■サマール地域開発プロジェクト

- ・教育施設も乏しく、教育の質が低い
- ・保健施設の設備が整備されておらず、安全な水の確保、ゴミ処理ができない
- ・農業と漁業以外の産業は乏しいため、所得を得る機会が少ない

それぞれの地域には、このほかにもさまざまな課題があります。支援を通し、子どもたちを取り巻く環境が少しずつ改善し、子どもたちが心身ともに健やかに成長できるようになることを目指していきます。

*フィリピンへの支援地訪問は、昨年11月に発生した台風被害対応のため、今後2～3年はお受けすることができません。ご了承ください。

チャイルド・スポンサーを募集しています！ お申込みは今すぐ

電話: ☎ 0120-465-009

(お申込み、パンフレットのご請求にお使いください)

(24時間受付)

ファックス: 03-5334-5359

(右記の□にチェック(✓)をしてお送りください)

<http://www.worldvision.jp/>

(お申込みやパンフレットのご請求ができます)

- チャイルド・スポンサーシップに申込む
チャイルド・スポンサーシップのチャイルドを追加する

お申込みの方

支援希望地域: アフリカ アジア 中南米 フィリピン
任せます

送金方法: クレジットカードの毎月利用
 (VISA、MASTER、SAISON、JCB、AMEXがご利用いただけます)
金融機関口座から毎月の引き落とし

名前(フリガナ)

パートナー番号(お分かりの方はご記入ください)

住所

電話番号

Eメール

お問い合わせは

CONTACTセンターへご連絡ください。

■CONTACTセンター(支援者窓口)

TEL: 03-5334-5351

FAX: 03-5334-5359

(平日9:30～19:00)

dservice@worldvision.or.jp

ワールド・ビジョン(1950年設立)は、キリスト教精神に基づいて開発援助、緊急人道支援、アドボカシーを行う国際NGOです。

特定非営利活動法人

ワールド・ビジョン・ジャパン

理事長 ● 榎原 寛 発行責任者 ● 片山 信彦

〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー3F

TEL: 03-5334-5350(代) FAX: 03-5334-5359

ホームページ: <http://www.worldvision.jp/>



MC12057

2014年6月発行